

## ～ゾーニングと感染対策のポイント～

### ゾーニングについて

徘徊する患者がいる場合→フロアをレッドゾーンに設定する。区切れるのであれば衝立等でフロアを区切りグリーンゾーンを確保する。見守り時には防護具の追加はしなくてよい。フロアでの介助で暴露する可能性がある場合は基本的な PPE に加え適時ガウン・手袋を追加する。

徘徊する患者がいない場合→個室ごとにレッドゾーンを設定する。基本的な PPE に加え、介助する場合は患者ごとにガウン・手袋を追加し、患者ごとに交換する。

### PPE 着脱について

感染対策の基本になります。分からない場合は以下のサイト「【動画・教材】高齢者施設における新型コロナウイルス感染症予防」を参考にして下さい（感染対策について基本的な箇所が網羅されています）。

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kourei/shisetu/covid19douga.html>

特に重要なのは PPE を脱ぐ時です。1つのアイテムを脱ぐ毎に1度アルコール消毒を挟んで下さい。

### 感染対策のポイント

- ✓ 換気 定期的に窓を開ける、もしくは換気扇を回す
- ✓ トイレ スタッフと使用するトイレ分ける。スタッフのトイレはグリーンゾーンが望ましい。分けられない場合は陽性者が使用した後は接触のあった場所を都度消毒する。トイレを出た後にも消毒できるように入口にアルコールの設置。
- ✓ ケアの順番 ①無症状者→②有症状者や濃厚接触者→③陽性者と部屋ごとにケアの順番を変更する。
- ✓ 物品の収納 清潔な物品（PPE 等）は汚染物（ゴミ箱）の近くに置かない
- ✓ 物品（PHS 等） PC、PHS 等共用のものは一日一回以上消毒
- ✓ 食事環境 患者が複数発生した場合はダイニング等での食事を中止。食器はディスポの食器に変更。
- ✓ 更衣室 陽性者が出ているフロアに従事しているスタッフとそれ以外のスタッフが異なる部屋を使えるのであれば分ける。
- ✓ 共有部 飛沫により暴露する可能性があるため共有部でうがいはいはしない。
- ✓ 仮眠室 使用者毎にシーツ交換
- ✓ 休憩室 使用する際は一人毎。難しければ会話は禁止。
- ✓ 洗濯・リネン ユニフォームは汚染されている可能性有。私服で帰宅し、持ち帰る際はビニール袋に入れる。退勤時はマスクを交換する。
- ✓ 洗濯・リネン・ゴミ等感染性のある廃棄物を扱うときは PPE 着用
- ✓ 環境整備・清掃 定期的に共有物（手すり等）は消毒する。
- ✓ 備品 個人で使用する歯ブラシ・コップ・タオルは個々の自室で管理。出来なければ隣と当たらないよう距離を離して管理する。
- ✓ 廃棄物 ごみは 80%を目安に廃棄。廃棄時ゴミ袋は空気抜き（圧縮）するとウイルスが飛散するため行わない。また 72 時間経過すれば一般ごみとして廃棄可能。

- ✓ リハビリ 患者発生時はリハビリ中止を検討
- ✓ 新規の入所 終息するまでの期間は受け入れ中止を検討。
- ✓ スタッフの体調管理 症状がある場合は申告させ、軽度であっても休ませる。